

平成30年度第3四半期

---

厚生年金保険給付組合積立金 運用状況



## 目次

・平成30年度	第3四半期運用実績（概要）	・ P 2
・平成30年度	市場環境（第3四半期）①	・ P 3
・平成30年度	市場環境（第3四半期）②	・ P 4
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合	・ P 5
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合（給付支払資産を除くベース）	・ P 6
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り	・ P 7
・（参考）前年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り	・ P 8
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り（給付支払資産を除くベース）	・ P 9
・（参考）前年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り（給付支払資産を除くベース）	・ P10
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額	・ P11
・（参考）前年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額	・ P12
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額（給付支払資産を除くベース）	・ P13
・（参考）前年度	厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額（給付支払資産を除くベース）	・ P14
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の資産の額	・ P15
・平成30年度	厚生年金保険給付組合積立金の資産の額（給付支払資産を除くベース）	・ P16
・	資産運用に関する専門用語の解説	・ P17

## 平成30年度 第3四半期運用実績（概要）

運用収益額 (第3四半期)	+ 50億円 ※実現収益額 ▲ 224億円 ※総合収益額
運用利回り (第3四半期)	+ 2.00% ※実現収益率 ▲ 7.86% ※修正総合収益率
運用資産残高 (第3四半期末)	2,548億円

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 平成30年度 市場環境 (第3四半期) ①

### 【各市場の動き(平成30年10月～平成30年12月)】

- 国内債券:**10年国債利回りは、期初は米国長期金利に連れる格好で利回りが上昇(債券価格は下落)する場面もありましたが、その後は米中貿易紛争に端を発した世界景気の減速懸念や主要国の株価下落等を背景に投資家がリスク回避の姿勢を強めたことから、利回りは低下(債券価格は上昇)傾向を辿りました。
- 国内株式:**国内株式は、円安の進行等を背景に高値圏でのスタートとなりましたが、世界景気減速懸念の高まりにより下落基調へと転じました。その後、米中首脳会談への期待やFRB議長が19年中に利上げを停止する可能性を示唆したこと等を背景に米国株が上昇したことで強含む場面もありましたが、期末にかけては、米中貿易紛争や円高の進行等に対する警戒感が広がったことから、株価は反落して下落幅を拡大しました。
- 外国債券:**米国10年国債は、期初は米国の好調な景気指標を受けた利上げ観測や世界的な株価下落等が交錯する格好で利回りは3.1%から3.2%程度のレンジ内で推移する神経質な展開となりました。しかし、期央以降、米中貿易摩擦の高まりや米国政府機関閉鎖といった懸念材料が広がる中、米国の利上げペースが鈍化するとの観測が強まったこと等から、利回りは低下(債券価格は上昇)しました。ドイツ10年国債は、イタリア財政規律を巡るEUとの対立懸念や、英国のEU離脱に対する先行き不透明感から、利回りは低下(債券価格は上昇)しました。
- 外国株式:**米国株式は、米企業業績の先行きに対する警戒感から下落して始まりました。期央には米国中間選挙の結果が好感され、株価が持ち直す局面もありましたが、12月の中国通信機器最大手の華為技術(ファーウェイ)副会長の逮捕を機に改めて米中貿易摩擦の深刻化が懸念され、期末にかけて株価は下落しました。欧州株式は、英国のEU離脱問題やイタリア財政等に対する警戒感の高まりを背景に下落基調で推移しました。
- 外国為替:**ドル/円は、主要国株式市場の下落やイタリア予算案を巡る動き等の懸念材料が意識される中、米国の金融政策等を睨みつつ112円から114円のレンジ内をもみ合う展開となりましたが、12月以降、世界的な景気減速懸念や政府機関一部閉鎖といった米国の政治動向への不安が広がる中、米国の利上げペースが鈍化するとの観測が強まったことから、円高/ドル安が進展しました。ユーロ/円は、イタリアに加えてフランスにおいても財政悪化が深刻化する恐れが顕在化したことやユーロ圏経済指標鈍化などが懸念材料となり、円高/ユーロ安となりました。

#### ○ ベンチマーク収益率

	平成30年10月～ 平成30年12月
国内債券 NOMURA-BPI総合	1.36%
国内株式 TOPIX(配当込み)	▲17.60%
外国債券 FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	▲2.49%
外国株式 MSCI ACWI(除く日本、円ベース、配当込み)	▲15.50%

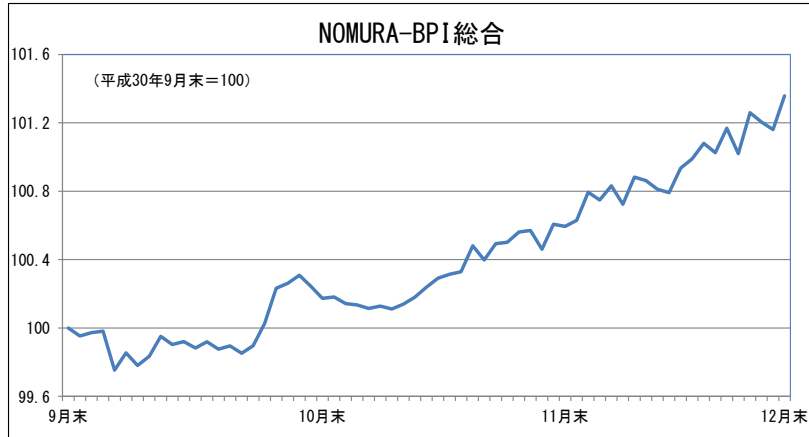
#### ○ 参考指標

		平成30年9月末	平成30年10月末	平成30年11月末	平成30年12月末
国内債券	(新発10年国債利回り) (%)	0.130	0.127	0.092	0.003
	(TOPIX) (ポイント)	1,817.25	1,646.12	1,667.45	1,494.09
国内株式	(日経平均株価) (円)	24,120.04	21,920.46	22,351.06	20,014.77
	外国債券	(米国10年国債利回り) (%)	3.061	3.144	2.988
外国株式	(ドイツ10年国債利回り) (%)	0.470	0.385	0.313	0.242
	(NYダウ) (ドル)	26,458.31	25,115.76	25,538.46	23,327.46
外国為替	(ドイツDAX) (ポイント)	12,246.73	11,447.51	11,257.24	10,558.96
	(ドル/円) (円)	113.70	112.94	113.57	109.69
	(ユーロ/円) (円)	131.93	127.76	128.44	125.83

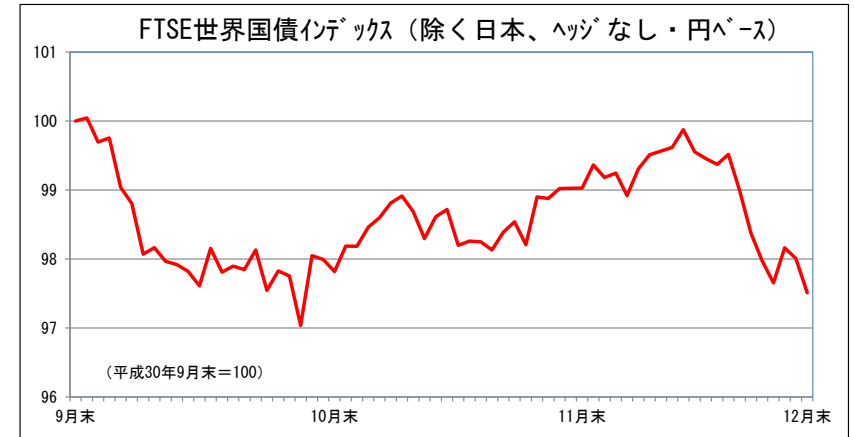
# 平成30年度 市場環境 (第3四半期) ②

ベンチマークインデックスの推移 (平成30年度第3四半期)

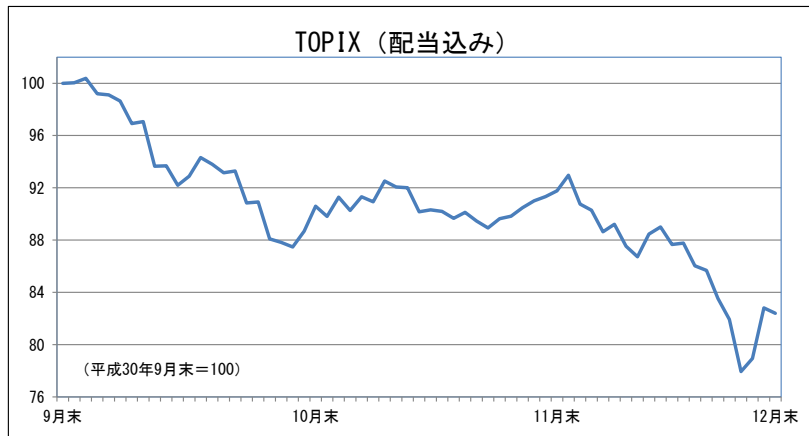
## 【国内債券】



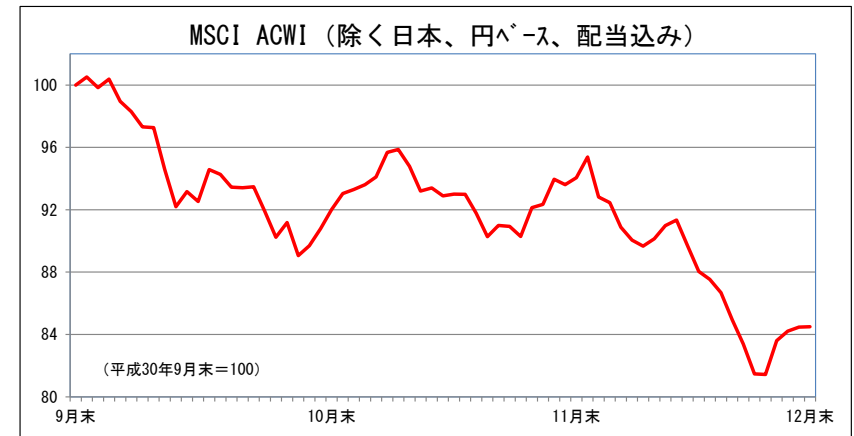
## 【外国債券】



## 【国内株式】



## 【外国株式】

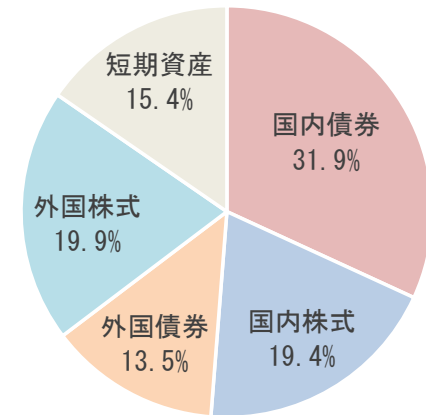


## 平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	28.4	29.5	26.6	31.9	—
国内株式	22.3	24.7	23.6	19.4	—
外国債券	11.4	12.6	11.7	13.5	—
外国株式	20.6	23.9	23.2	19.9	—
短期資産	17.3	9.4	15.0	15.4	—
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	—

第3四半期末 運用資産別の構成割合



(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注3) 各単資産ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

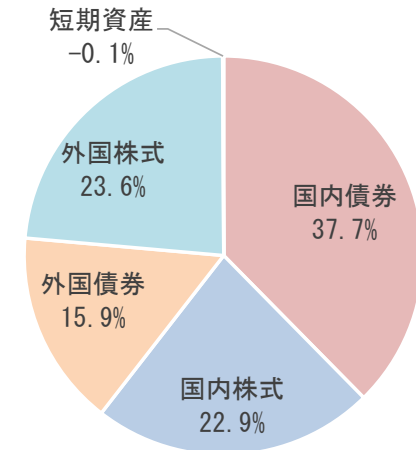
(注4) 短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合（給付支払資産を除くベース）

（単位：％）

	平成29年度	平成30年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	34.3	32.5	31.2	37.7	—
国内株式	26.9	27.2	27.7	22.9	—
外国債券	13.7	13.9	13.7	15.9	—
外国株式	24.9	26.4	27.2	23.6	—
短期資産	0.2	▲0.1	0.2	▲0.1	—
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	—

第3四半期末 運用資産別の構成割合



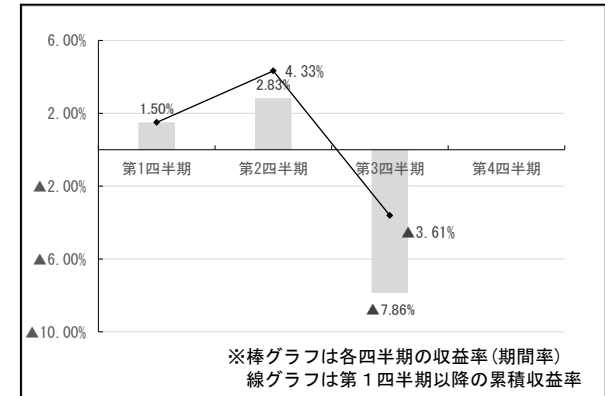
- （注1）基本ポートフォリオは、国内債券35%（±15%）、国内株式25%（±14%）、外国債券15%（±6%）、外国株式25%（±12%）です（括弧内は、許容乖離幅）。
- （注2）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- （注3）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
- （注4）各単資産ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。
- （注5）短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

# 平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り

○平成30年度第3四半期の実現収益率は、2.00%となりました。なお、修正総合収益率は、▲7.86%です。  
 ○資産別の修正総合収益率については、国内債券が1.38%、国内株式は▲18.16%、外国債券は▲2.43%、  
 外国株式は▲15.33%、短期資産は▲0.11%となりました。

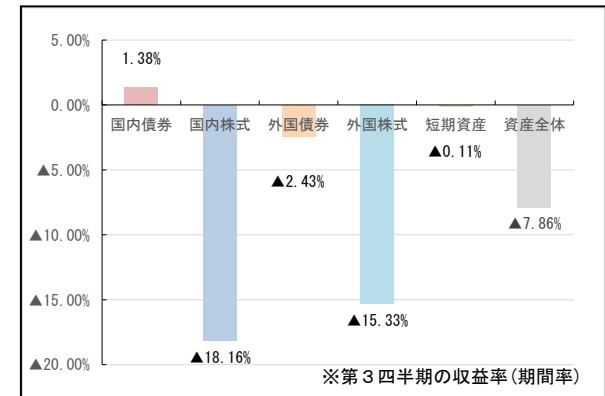
(単位：%)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率(時価)	1.50	2.83	▲7.86	—	▲3.61
国内債券	0.35	▲0.75	1.38	—	0.97
国内株式	0.74	5.22	▲18.16	—	▲12.57
外国債券	0.74	1.44	▲2.43	—	▲0.30
外国株式	5.14	7.02	▲15.33	—	▲3.99
短期資産	▲0.00	0.02	▲0.11	—	▲0.09



(単位：%)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.70	0.64	2.00	—	3.33



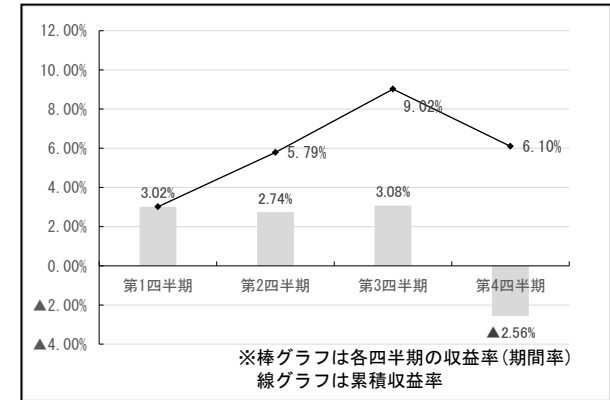
- (注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。
- (注2) 「年度計」は平成30年度第3四半期までの累積収益率です。
- (注3) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注4) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考) 前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り

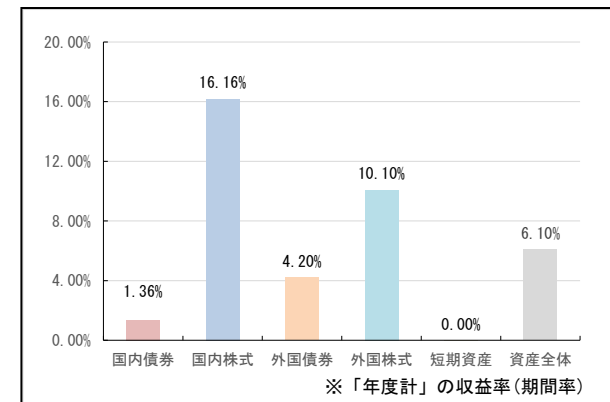
(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率(時価)	3.02	2.74	3.08	▲2.56	6.10
国内債券	0.05	0.70	0.32	0.30	1.36
国内株式	7.34	4.91	8.44	▲4.16	16.16
外国債券	4.76	2.44	1.31	▲4.05	4.20
外国株式	5.12	6.38	5.18	▲6.05	10.10
短期資産	0.01	0.01	▲0.00	▲0.01	0.00



(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.67	0.95	1.99	1.46	5.14



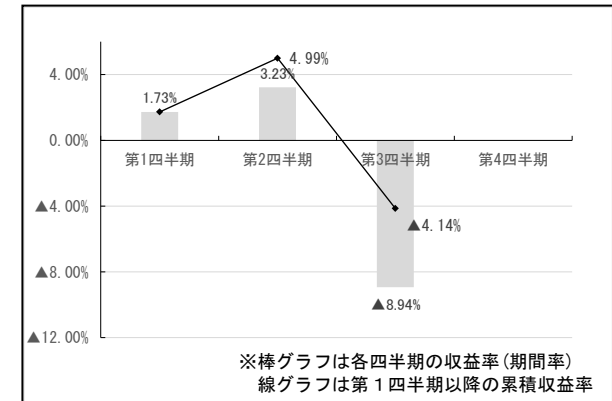
- (注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。
- (注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り（給付支払資産を除くベース）

○平成30年度第3四半期の実現収益率は、2.33%となりました。なお、修正総合収益率は、▲8.94%です。  
 ○資産別の修正総合収益率については、国内債券が1.38%、国内株式は▲18.16%、外国債券は▲2.43%、  
 外国株式は▲15.33%、運用に伴う短期資産は▲7.92%となりました。

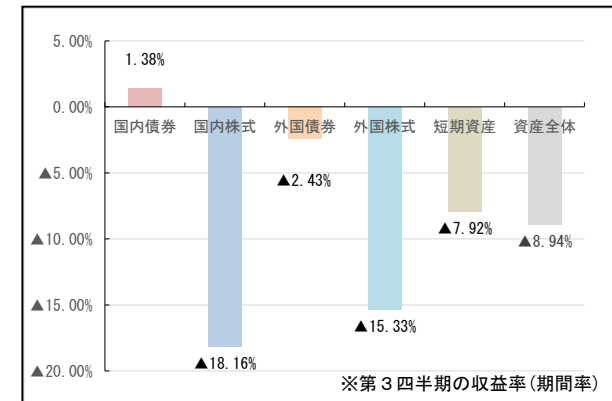
（単位：％）

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率（時価）	1.73	3.23	▲8.94	—	▲4.14
国内債券	0.35	▲0.75	1.38	—	0.97
国内株式	0.74	5.22	▲18.16	—	▲12.57
外国債券	0.74	1.44	▲2.43	—	▲0.30
外国株式	5.14	7.02	▲15.33	—	▲3.99
短期資産	▲0.13	1.42	▲7.92	—	▲7.29



（単位：％）

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率（簿価）	0.82	0.75	2.33	—	3.88

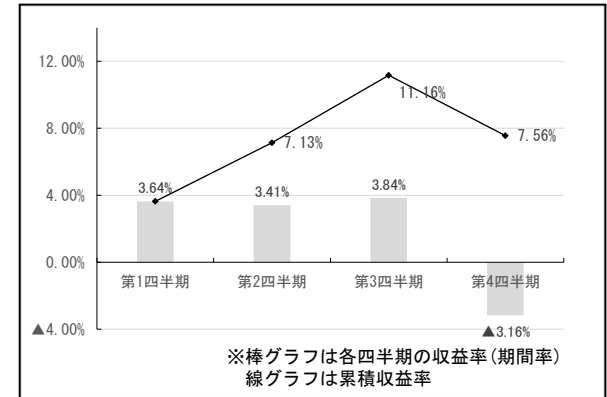


- (注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。
- (注2) 「年度計」は平成30年度第3四半期までの累積収益率です。
- (注3) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注4) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
- (注6) 給付支払資産を除くベースとは、短期資産の中の包括信託内短期資産以外の短期資産を除いたベース

(参考) 前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り (給付支払資産を除くベース)

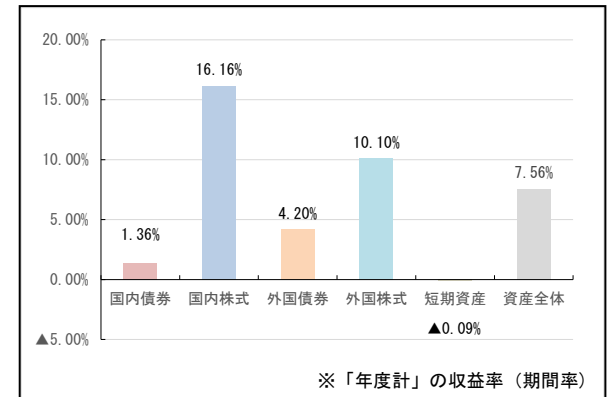
(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率(時価)	3.64	3.41	3.84	▲3.16	7.56
国内債券	0.05	0.70	0.32	0.30	1.36
国内株式	7.34	4.91	8.44	▲4.16	16.16
外国債券	4.76	2.44	1.31	▲4.05	4.20
外国株式	5.12	6.38	5.18	▲6.05	10.10
短期資産	0.79	1.93	▲0.29	▲1.79	▲0.09



(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.83	1.22	2.58	1.86	6.50



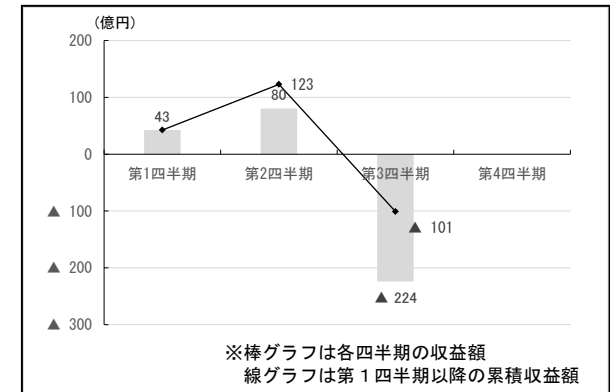
- (注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。
- (注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注4) 給付支払資産を除くベースとは、短期資産の中の包括信託内短期資産以外の短期資産を除いたベース

# 平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額

○平成30年度第3四半期の実現収益額は、50億円となりました。なお、総合収益額は、▲224億円です。  
 ○資産別の総合収益額については、国内債券が11億円、国内株式は▲123億円、外国債券は▲9億円、  
 外国株式は▲103億円、短期資産は▲0億円となりました。

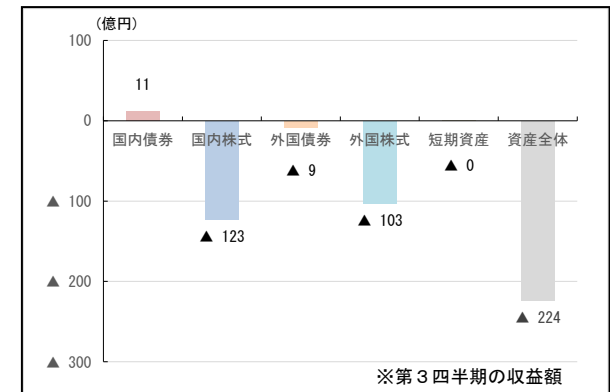
(単位：億円)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額(時価)	43	80	▲224	—	▲101
国内債券	3	▲6	11	—	8
国内株式	5	35	▲123	—	▲83
外国債券	3	5	▲9	—	▲1
外国株式	32	46	▲103	—	▲25
短期資産	▲0	0	▲0	—	▲0



(単位：億円)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額(簿価)	18	16	50	—	84

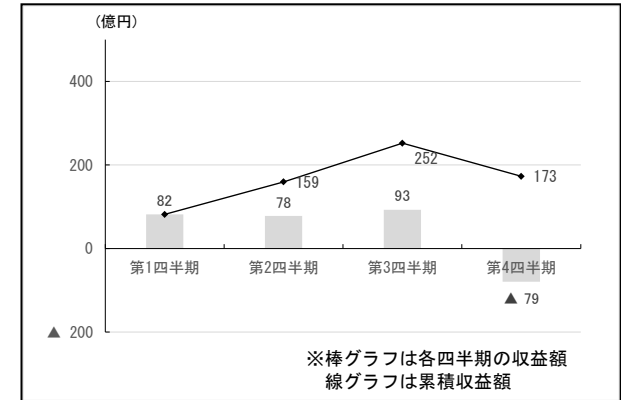


- (注1) 「年度計」は平成30年度第3四半期までの累積収益額です。
- (注2) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注3) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注4) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額

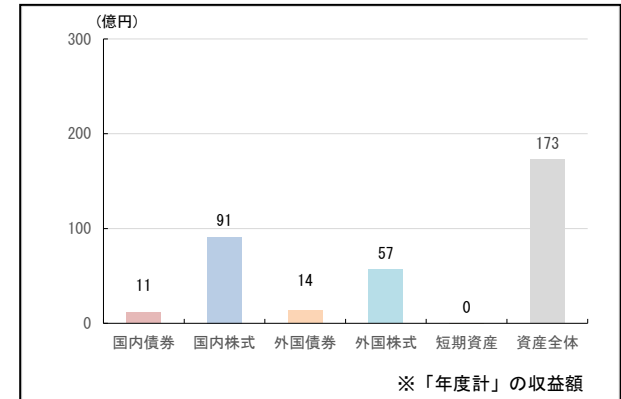
(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額（時価）	82	78	93	▲79	173
国内債券	0	6	3	3	11
国内株式	38	27	54	▲28	91
外国債券	15	8	4	▲14	14
外国株式	28	37	32	▲39	57
短期資産	0	0	▲0	▲0	0



(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額（簿価）	17	24	53	40	134



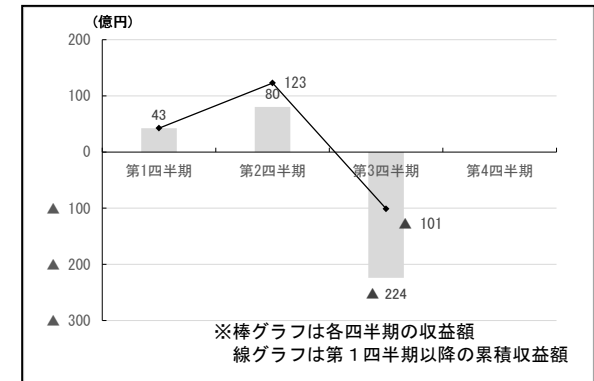
- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額（給付支払資産を除くベース）

○平成30年度第3四半期の実現収益額は、50億円となりました。なお、総合収益額は、▲224億円です。  
 ○資産別の総合収益額については、国内債券が11億円、国内株式は▲123億円、外国債券は▲9億円、  
 外国株式は▲103億円、運用に伴う短期資産は▲0億円となりました。

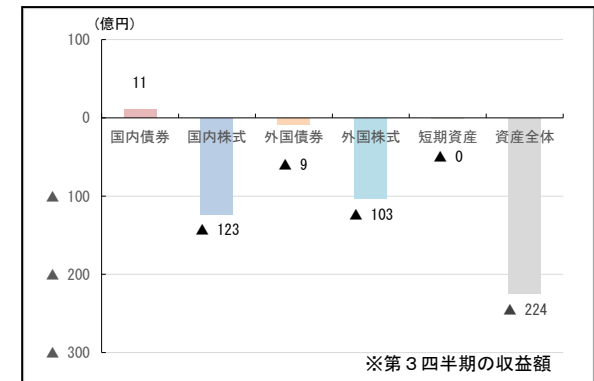
（単位：億円）

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額（時価）	43	80	▲224	—	▲101
国内債券	3	▲6	11	—	8
国内株式	5	35	▲123	—	▲83
外国債券	3	5	▲9	—	▲1
外国株式	32	46	▲103	—	▲25
短期資産	▲0	0	▲0	—	▲0



（単位：億円）

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額（簿価）	18	16	50	—	84

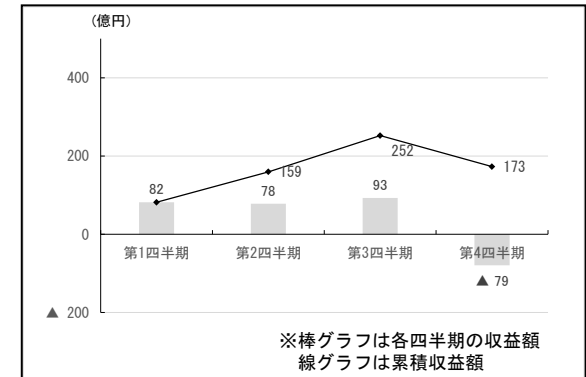


- （注1）「年度計」は平成30年度第3四半期までの累積収益額です。
- （注2）収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- （注3）総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- （注4）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- （注5）上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
- （注6）給付支払資産を除くベースとは、短期資産の中の包括信託内短期資産以外の短期資産を除いたベース

(参考) 前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額 (給付支払資産を除くベース)

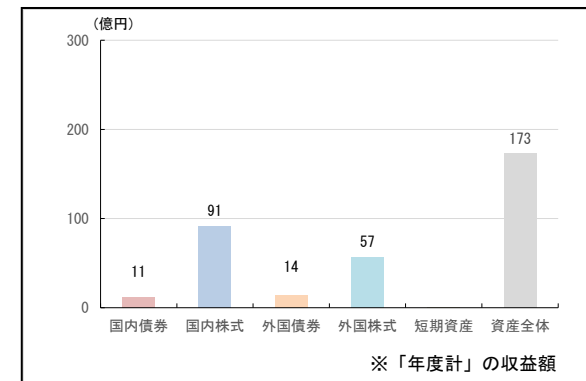
(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額 (時価)	82	78	93	▲79	173
国内債券	0	6	3	3	11
国内株式	38	27	54	▲28	91
外国債券	15	8	4	▲14	14
外国株式	28	37	32	▲39	57
短期資産	0	0	▲0	▲0	▲0



(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額 (簿価)	17	24	53	40	134



- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
- (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
- (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注4) 給付支払資産を除くベースとは、短期資産の中の包括信託内短期資産以外の短期資産を除いたベース

## 平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産の額

(単位：億円)

	平成30年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	776	808	32	778	801	23	778	812	34	—	—	—
国内株式	579	677	98	579	712	133	505	494	▲11	—	—	—
外国債券	338	346	8	340	351	12	342	343	1	—	—	—
外国株式	489	655	166	494	699	205	437	507	70	—	—	—
短期資産	257	257	▲0	451	451	0	392	392	▲0	—	—	—
合計	2,439	2,743	304	2,642	3,014	372	2,455	2,548	93	—	—	—

(単位：億円)

	平成29年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	783	816	32	786	817	32	788	820	32	827	857	30
国内株式	462	556	94	463	584	121	542	675	132	577	672	95
外国債券	313	330	17	316	338	22	319	343	24	338	343	5
外国株式	416	567	152	428	605	177	436	636	199	480	622	142
短期資産	415	415	0	691	691	0	588	588	0	522	522	▲0
合計	2,390	2,685	295	2,684	3,036	352	2,673	3,062	388	2,744	3,017	273

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値(平成30年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注3) 各単資産ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

(注4) 短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。



平成30年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産の額（給付支払資産を除くベース）

（単位：億円）

	平成30年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	776	808	32	778	801	23	778	812	34	—	—	—
国内株式	579	677	98	579	712	133	505	494	▲11	—	—	—
外国債券	338	346	8	340	351	12	342	343	1	—	—	—
外国株式	489	655	166	494	699	205	437	507	70	—	—	—
短期資産	-2	-2	▲0	5	5	0	-2	-2	▲0	—	—	—
合計	2,180	2,484	304	2,196	2,568	372	2,060	2,154	93	—	—	—

（単位：億円）

	平成29年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	783	816	32	786	817	32	788	820	32	827	857	30
国内株式	462	556	94	463	584	121	542	675	132	577	672	95
外国債券	313	330	17	316	338	22	319	343	24	338	343	5
外国株式	416	567	152	428	605	177	436	636	199	480	622	142
短期資産	-1	-1	0	3	3	0	-0	-0	0	13	13	▲0
合計	1,974	2,269	295	1,996	2,348	352	2,085	2,473	388	2,235	2,507	273

（注1）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

（注2）上記数値（平成30年度）は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

（注3）各単資産ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

（注4）短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。

（注5）給付支払資産を除くベースとは、短期資産の中の包括信託内短期資産以外の短期資産を除いたベース

## 資産運用に関する専門用語の解説

- 厚生年金保険給付組合積立金  
東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化に際し仕分けられた厚生年金部分の年金積立金です。
- 退職等年金給付組合積立金  
東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化の際に新たに創設された民間の企業年金に相当する年金積立金で、退職給付の一部となっています。
- 経過的長期給付組合積立金  
東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化に際し仕分けられた旧職域部分の年金積立金です。
- 実現収益額  
(計算式)  
実現収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)
- 実現収益率  
(計算式)  
実現収益率 = 実現収益額 ÷ 元本 (簿価) 平均残高
- 総合収益額  
実現収益額に資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。  
(計算式) 総合収益額 = 実現収益額 + 評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)
- 修正総合収益率  
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額を、元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。  
(計算式)  
修正総合収益率 = 総合収益額 / (元本 (簿価) 平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)

○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を使用しています。東京都職員共済組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

1 国内債券

・ NOMURA-BPI 総合

野村証券株式会社が作成・公表している国内債券のベンチマークです。

※NOMURA-BPI 総合は、その著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、当該指数に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該指数の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

2 国内株式

・ TOPIX (配当込み)

東京証券取引所が作成・公表している国内株式のベンチマークです。

※東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

3 外国債券

・ FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。

※このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

4 外国株式

・ MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)

MSCI Incが作成・公表している日本を除く先進国及び新興国で構成された外国株式のベンチマークです。

○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率、いわゆる市場平均収益率のことです。